

# 平成28年度牛山小学校教育活動へのアンケート集計結果

アンケート実施時期

H29. 1. 31～2. 14

回答数

回答 278 / 354 (児童数)  
(回答率 78.5%)

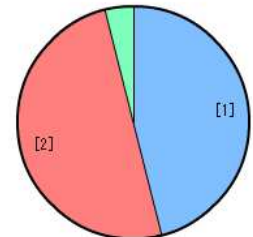
## 学校は楽しいか

選択入力 [必須]

設問 : お子様は、学校を楽しんで行っていますか。

入力条件 : 必須

| No. ▲ | 選択肢             | 選択数 | %      | グラフ                    | 凡例色 |
|-------|-----------------|-----|--------|------------------------|-----|
| 1     | 毎日楽しんで行っている     | 128 | 46.0%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 2     | だいたい楽しんで行っている   | 139 | 50.0%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 3     | どちらかというとなさそうである | 11  | 4.0%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 4     | よくわからない         | 0   | 0.0%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 合計    |                 | 278 | 100.0% |                        |     |



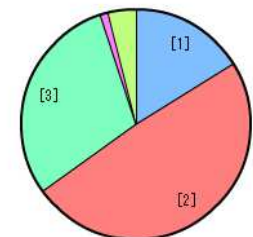
## 授業について

選択入力 [必須]

設問 : 学校の授業について、お子様はどのように感じていると思いますか。

入力条件 : 必須

| No. ▲ | 選択肢                 | 選択数 | %      | グラフ                    | 凡例色 |
|-------|---------------------|-----|--------|------------------------|-----|
| 1     | わかりやすく楽しい授業が多い      | 45  | 16.2%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 2     | おおむねどの授業もわかりやすい     | 136 | 48.9%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 3     | 教科によっては、わかりにくい授業がある | 83  | 29.9%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 4     | ほとんどの教科がわかりにくく楽しくない | 3   | 1.1%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 5     | 子どもがどう感じているか、わからない  | 11  | 4.0%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 合計    |                     | 278 | 100.0% |                        |     |



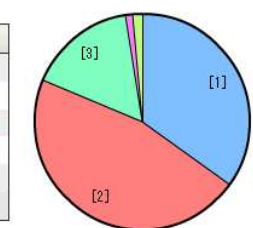
## 教師の子ども理解について

選択入力 [必須]

設問 : 教師は、お子様のことをよく理解して指導にあたっていますか。

入力条件 : 必須

| No. ▲ | 選択肢                      | 選択数 | %      | グラフ                    | 凡例色 |
|-------|--------------------------|-----|--------|------------------------|-----|
| 1     | 子どもをよく理解し親身になって指導している    | 97  | 34.9%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 2     | おおむねよく理解して指導している         | 129 | 46.4%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 3     | 場面によっては、理解していないと感じることがある | 45  | 16.2%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 4     | 理解が足りないと感じる              | 3   | 1.1%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 5     | よくわからない                  | 4   | 1.4%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 合計    |                          | 278 | 100.0% |                        |     |



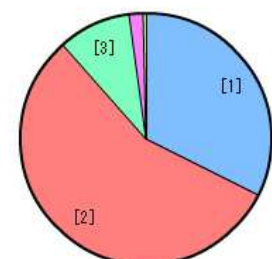
## 学校の安全

選択入力 [必須]

設問 : 学校は、子どもの安全や健康に十分配慮をしていると感じますか。

入力条件 : 必須

| No. ▲ | 選択肢          | 選択数 | %      | グラフ                    | 凡例色 |
|-------|--------------|-----|--------|------------------------|-----|
| 1     | 十分配慮している     | 90  | 32.4%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 2     | おおむね配慮している   | 156 | 56.1%  | <div><div></div></div> | ■   |
| 3     | もう少し配慮があるとよい | 26  | 9.4%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 4     | 配慮が足りないことが多い | 5   | 1.8%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 5     | よくわからない      | 1   | 0.4%   | <div><div></div></div> | ■   |
| 合計    |              | 278 | 100.0% |                        |     |



保護者の皆様、たくさんのご協力ありがとうございました。ご意見ご感想欄については、個人が特定されるものや学級、学年など限定的に受け取られるものもありますので、公表を控えさせていただきました。それらについては、校内の職員で共有するとともに、学校評議員の皆様にもご覧いただき、今後の教育活動にいかしていきたいと思います。

## 牛山小学校としてのアンケートの結果分析

### 1 回答数について

今回初めてweb上での調査を行った。児童数に対する回答率が78.5%であり、兄弟姉妹の数、世帯数を考えると、ほとんどの保護者から回答を得たものと受け止めることができる。保護者へのアンケート依頼文書だけでなく、緊急メールでアドレスを配信したり、同様のwebアンケートを1,2学期の授業参観でも試行していたことなどが功奏したと考えられるが、何より本校保護者の教育や、牛山小学校への関心の高さの表れといえよう。このアンケートによって得られた数々の指針は、本校の教育活動改善への重要な資料となっている。いっそう開かれた学校運営をはかっていくため、アンケートへの協力がますます多く得られるよう工夫をし、さらに保護者の声を拾い上げたい。

### 2 設問1「学校は楽しいか」

「毎日楽しんで行っている」と「だいたい楽しんで行っている」の合計は96.0%と大変高い数字となった。大半の保護者は、子どもにとって学校は楽しいところであるという認識があり、児童の学校に対する適応感は十分に高い状態であると考えられる。年間を通して、落ち着いた授業が行われており、休み時間も子どもたちは元気よく遊んでいる。友人関係、学級やSU（縦割りの異年齢班）などの児童集団は、子どもたちにとって比較的居心地のよい場になっているのであろう。しかし、校内での子ども同士の喧嘩、悪口の言い合い、登下校中のトラブルなど、本人がいじめられていると感じるような事例も複数あった。機をとらえて校長が「立場の弱い人への思いやりの心を持とう」という内容の講話を行ったり、学校保健委員会では「ふわふわ言葉とちくちく言葉」を取り上げ、コミュニケーションについて見つめ直させる取り組みも行ったりした。今後とも、子どもたちにとって楽しい学校生活が続くよう児童の人間関係等を注意深く観察し、対応をしていく必要がある。

### 3 設問2「授業について」

「わかりやすく楽しい授業が多い」と「おおむねどの授業もわかりやすい」を合わせた割合が、65.1%であった。個々の教師がICT機器の活用など、わかりやすい授業に向けての指導技術の向上に日々取り組んでいる。また、ALTや書道専門講師による学習指導の充実も図っている。全国学力学習状況調査の結果も、国語・算数どちらの教科もおおむね平均以上であった。高学年算数の少人数指導の効果も着実に出てきているといえよう。しかし「教科によってはわかりにくい授業がある」の回答も29.9%あり、学習指導についてはさらに、指導力向上が求められる。現在、「牛山スタンダード」の定着により、子どもの学習規律の徹底に努めているところであるが、若手教師がますます増加している現状も踏まえ、来年度は、組織的な校内教職員研修を充実させていくことはきわめて重要な課題である。

### 4 設問3「教師の子ども理解について」

「子どもをよく理解し親身になって指導している」「おおむねよく理解して指導している」は合わせて80.3%であった。担任教師を中心に、日々子どもの表情やつぶやきにも目や耳を傾けたきめ細かい指導により、教師の子ども理解がある程度深まっているとの結果が得られた。また、市の非常勤教師を低学年の授業にサブティーチャーとして配置したり、心の教育相談員が授業や休み時間に子どもと関わったりするなど、多くの目で子どもの様子をよりの確に捉えるよう努めている。今後も、日々の授業の中で、また毎学期実施している教育相談やいじめアンケートなどを活かして、教師が子どもの小さな変化も見落とさず、心を通わせる指導を心がけ、子ども理解をいっそう深めたい。

## 5 設問4「学校の安全」

「十分配慮している」「おおむね配慮している」の合計が88.5%であった。9割近い保護者が、学校が子どもの安全に「配慮している」ととらえている。親や子どもにとって学校が安全で安心できる場であり続けることは、最も大切なことだと考えている。今年度、校内において、また登下校中において、大きな事故やけがもなく、子どもたちは比較的安全に学校生活を送ることができた。

牛山小学校区は、道幅の狭い道路が多く、その割にはたくさんの企業社屋が近隣にあるため登下校中の交通量は非常に多い。保護者の交通事故に対する危機意識は、他の学校に比べるとかなり高いことが考えられる。配慮不足を1割の保護者が指摘している中身は、交通事故に対する不安もあるのではないだろうか。今年度後半、一斉下校を増やしてできるだけ上級学年と一緒に安全な下校を図った。

また、3学期の学習発表会がインフルエンザの流行に重なってしまい、感染拡大防止と相反する行事計画ではないかとの指摘が、アンケートの中に複数あった。本校の学習発表会は総合的な学習の時間のまとめでもあるため、3学期実施は避けられないところだが、校内や地域の感染実態を十分に考慮して、できる対応を柔軟に検討していきたい。

近年、熱中症、雷や暴風などの異常気象、不審者、インフルエンザ等の感染症など、児童を脅かすさまざまな事態に対して、より適切に対応できるよう具体的な工夫を重ねてきた。子どもを危険にさらすようなことは万が一にもあってはならないことである。今後とも児童の安全・健康については細心の配慮をしていくべきであると考えます。

## 学校評議員会で出された意見

アンケート結果（自由記述のご意見やご感想も含む）および結果の分析について、第3回学校評議員会で報告し、評議員の皆様から様々なご意見をいただきました。以下がその概要です。

- ・子ども同士の小さなトラブルは、一人一人の心の成長にとって大切な経験となりうる。学校が神経質になり、問題のないことをよしとする傾向に陥らないようにしてほしい。子どもを過保護にする風潮に注意すべきだ。

- ・安全性の追求は大切なことだが、発生確率の低いことを避けるために、様々な活動が萎縮してしまわないか心配である。

- ・先生たちが忙しすぎすぎて余裕がなくなってくると、子どもの対応に悪影響が出る。仕事に仕方に工夫が必要な時代ではないか。

- ・小学生の親の多くは、親としてもまだ若く未熟なところもあると思う。親も子どもの成長と一緒に成長していくものである。学校としても、そうした家庭のありようについても理解してほしい。

- ・家庭の中で、複数の大人がいろいろな役割で子どもを育てていく姿が理想であろう。しかし、昨今家庭の中に大人の数が少ないのが現状である。解決は難しいが、そうした現状についても学校は理解すべきだと思う。

- ・教育活動の報告や授業参観などで、情報教育の充実やICT機器の活用など、目新しいものがたくさん見られた。しかし、初歩的、基本的なことの押さえが軽視されないように注意すべきだ。本を読む、字を書く、声や体を使って表現することの大切さを忘れないでほしい。併せて、次世代に備えることと同じように、時代を超えて変わらない能力をしっかりと身につけさせてほしい。

- ・外国語活動が、小学校でも重視されてきている。英会話などの言語能力は小学生時代に磨いておくと、きわめて効果的だと思う。しっかり取り組んでほしい。

- ・小学生時代は、人間が最も大きく成長するとき、この機会をしっかりと捉えて、子どもに何を学ばせるべきか、先生たちできちんと考えてすすめるべきだ。